

# 会社概要

古河電工は、創業以来1世紀を超える現在まで、常に日本の産業基盤となる技術と共に歩み続け、電線・非鉄金属に始まった技術革新の流れは、時代に応じた多彩な新技術をもって今日の社会の要求に対応し、技術力と創造力で新しい可能性に挑み続けています。

- 本社** 〒100-8322  
東京都千代田区丸の内2丁目6番1号
- 創業** 明治17年（1884年）  
商号変更 大正9年（1920年）
- 資本金** 592億円
- 従業員** 5,777名

**本社**

**事業所**：千葉事業所、日光事業所、平塚事業所、三重事業所、大阪事業所、蒲原事業所、品川事業所、横浜研究所

**営業拠点**：関西支社、中部支社、九州支社、中国支社、東北支社、北海道支社

**研究部門**：横浜研究所、メタル総合研究所、環境・エネルギー研究所、ファイテルネットワーク研究所、ファイテルフォニクス研究所、自動車電装技術研究所

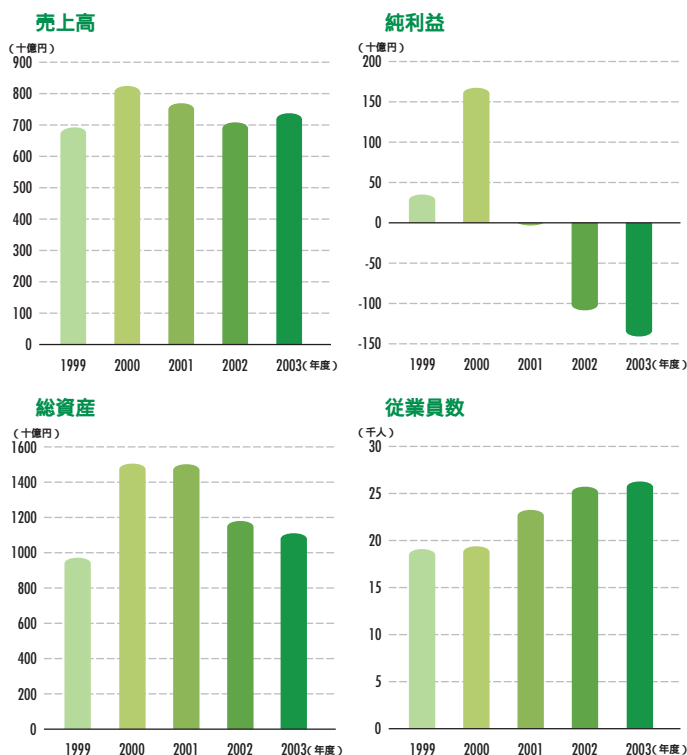
（2004年3月31日現在）



2003年10月に軽金属部門を分割し、古河スカイ欄を発足させました。本報告書に含まれる福井事業所・小山事業所・日光事業所（製板）・滋賀事業所は古河スカイ欄の製造拠点の一部となります。

## 業績概要(連結データ)

連結売上高は、情報通信以外の部門がいずれも伸長したことや、グループ経営強化に伴う連結範囲の拡大により、前期を上回る739,867百万円（同年同期比4.1%増）を確保できました。しかし、純利益は米子会社OFSの資産減損処理や事業構造改革のための資産処分損などにより 140,128百万円の損失となりました。



## 事業内容

古河電工の最先端技術から生まれる4つの事業分野について、素材から各種システムまでの主要営業品目および環境における側面を紹介します。

	情報通信	エネルギー関連	マテリアル	電子・実装機器等
主要営業品目	光ファイバケーブル、光ファイバケーブル付属品・工事、光関連部品、ネットワーク機器など	裸線、アルミ線、被覆線、巻線、電力ケーブル、電力ケーブル付属品・工事、電線管路材、発泡シートなどのプラスチック品、熱電材製品など	銅管、銅条などの伸銅品、電解銅箔、形状記憶合金、アルミ板材、アルミ押出材、アルミ鍛造品などの非鉄金属製品など	自動車用部品・電線、ヒートパイプ、メモリーディスク用アルミ基板、電子部品材料など
売上高構成比	18%	25%	37%	20%
生産拠点	千葉事業所			
	日光事業所(清滝)			
	日光事業所(製板)			
	平塚事業所			
	小山事業所			
	三重事業所			
	大阪事業所			
	福井事業所			
	滋賀事業所			
	蒲原事業所			
品川事業所				
横浜研究所				
環境側面	省エネルギー			
	地球温暖化			
	省資源			
	リサイクル			
有害物質廃止				